

平成3年6月21日

新町中学校生徒・保護者・地域の皆様へ

青梅市立新町中学校
校長 飯島 博之

新町中学校の開校記念日（40周年）について

6月22日は新町中学校の開校記念日です。今年是新町中学校が開校されて40周年を迎えました。（周年は経過した年数を表しますので、開校41年目になります。）

新町中学校やこの地域のことをよく知って、より親しみを感じてもらうために簡単にまとめましたので御覧ください。

新町中学校と新町地区の歴史

青梅市立新町中学校は、昭和56年4月1日（1981年）に新設されました。

皆さんが住む青梅市新町地区は、400年以上の長い歴史があります。

新町地区の中心を通る**青梅街道**は、1603年（慶長8年）江戸城築城のために、青梅の成木村（なりきむら）で採れる石灰を江戸まで運搬する道路として整備されました。この石灰は成木石灰とよばれ漆喰（しっくい）の原料となり、江戸城や日光東照宮の壁として使用されています。当時は成木街道と呼ばれていましたが、後に青梅街道と呼ばれるようになります。

この青梅街道に沿って、現在の新町地区は1611年から新田開発が始まりました。そして1616年（元和2年）「新町村」として開村しました。同じ年には、皆さんがお祭りに参加している**新町御岳神社**も創建されています。

その後、昭和40年代（1965年～）になると西東京工業団地（現在の末広町付近）の開発が始まり、羽村町の一部と新町地区の一部が、現在の青梅市末広町となりました。その後、人口も徐々に増加して、昭和48年（1973年）に青梅市立新町小学校が開校します。その後も昭和51年から平成10年までの22年間にわたる新町地区土地区画整理事業によって、道路、公園、宅地、公共施設等が整備され、今では大型店舗や飲食店が立ち並び、町並みも大きく変わりました。

このような宅地開発に伴い、第三中学校の生徒数増加に対応するため、昭和56年4月1日に青梅市立新町中学校が開校しました。

学校の名前が決まるまでは、**第三中学校区内新設校**と呼ばれ、第三中学校の学区から分かれる形で開校しました。新町中の開校の年は、1、2年生264名でした。当時の第三中学校が約700名なので、新町中が開校しなければ第三中学校は1000名の大規模校になっていました。新町中学校の生徒数は、平成元年（1989年）前後が一番多く**約700名**の時がありました。令和3年度は465名です。今後しばらくは、500名くらいの生徒数が続く見込みです。

新町中学校の主な出来事

- 昭和56年4月 1日 青梅市立新町中学校設立認可
初代校長 中丸貞雄先生が就任、
教職員18名が発令される。
- 4月 5日 第三中学校から贈られた**友情の木**（百日紅さるすべり）
を植樹する。
（校門を入れて右側の木です。記念碑もあります。）
- 4月 7日 開校式 入学式（1年生153名、2年生111名、
合計264名でスタートする）
- 6月21日 PTA 設立総会
- 6月22日 校章制定日（この日を開校記念日と定める）**
- 9月16日 校歌制定日
- 10月12日 生徒会発足 第一代会長 志村信明君
- 10月15日 PTA 会報「拓く」創刊号発行
- 10月29日 「校章・校歌の成立を祝い感謝する会」を開催する。
校章作成者、校歌作詞者、作曲者を招待し実施する。
- 昭和57年5月30日 落成記念式典挙行
- 昭和58年6月23日 プール完成



校 章

校章については、当時市役所に勤務されていた宇津木敏郎様に依頼し、富士塚の名称を、先生、父母、生徒の三つの協調性にまとめ、勉学の心をペン先で力強く表現しました。



校 歌

校歌については、作詞は詩人の宮沢章二氏に依頼し、作曲は国立音楽大学の小山章三氏に依頼しました。新町の「開拓精神」を取り入れながら、明るく力強い曲にしました。碑は南校舎の東側にあります。